

授業科目名・形態	日常生活支援技術演習Ⅲ 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	富樫 大	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう根拠に基づいた介護実践を行なうための知識・技術を習得する学習とする。このとき、生活支援技術論で学習した人体の構造と機能の知識が不可欠であることを踏まえ、日常生活の根本となる移動についての知識と技術を深める。

【到達目標】

1. 移動の意義、目的、実践の根拠について説明できる能力を身につける。
2. 移動について、対象者の能力を活用・発揮し、自立に向けた基礎的な知識・技術を習得する。
3. 移動に関する福祉機器の知識とその活用法についても具体的に学ぶ。

【授業計画・内容】

- 第1回 移動・移乗の意義と目的、安全・安楽について考える
 第2回 移動・移乗におけるICFの視点とアセスメント
 第3回 ボディメカニクスの理解と実践
 第4回 関節可動域と良肢位
 第5回 移動・移乗における介護技術 ①基本的理解
 第6回 移動・移乗における介護技術 ②自立度が高い場合、部分的援助を要する場合
 第7回 移動・移乗における介護技術 ③全面的援助を要する場合
 第8回 移動・移乗における介護技術 ④ベッドから車いすへ、車いすからベッドへ
 第9回 移動・移乗における介護技術 ⑤杖歩行、歩行器、車いす走行
 第10回 技術チェック「車いす移動、移乗」
 第11回 機能低下・障害がある人の移動・移乗における介護技術1
 第12回 機能低下・障害がある人の移動・移乗における介護技術2
 第13回 機能低下・障害がある人の移動・移乗における介護技術3
 第14回 褥瘡の原因と予防
 第15回 関連職種との役割と連携、福祉機器

【授業実施方法】

グループワーク、演習形式とする。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

介護の基本、介護総合演習、生活支援技術論

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座6 生活支援技術Ⅰ 中央法規出版

【参考文献】

適宜紹介する

【成績評価方法】

筆記試験 60%、実技チェック・レポート等 30%、授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

介護老人福祉施設での介護福祉士の経験ならびに介護支援専門員や訪問介護員としての居宅サービス事業所に従事している。施設サービスと居宅サービスの実務経験を活かし、利用者の尊厳の保持や自立支援を踏まえ、利用者本位の生活が継続できるよう、エビデンスに基づいたケアの実践のための演習を行う。

【学生へのメッセージ】

対象者（利用者）が安心して移動できるケアは、安全かつ安楽な実施が大切です。移動、移乗に関するからだのしくみの理解を深めるとともに、利用者、介護職双方の負担軽減や残存能力を活用、自立支援の観点から移動、移乗の介助方法を学びます。